

令和元年度第4回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録

■日 時 令和元年10月23日（水） 18時～19時45分

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

委員数の19名に対して10名が出席しており会議は成立（遅れて2名出席）。

2 開会のあいさつ

（会長）

前回の会議ではKPIの評価をしたところであるが、今回の会議はその結果の報告となっている。来年度に向けた積極的な意見もいただきたい。

3 議事

（1）報告事項

まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価検証結果について

（説明：SDGs地域戦略推進室）

（委員）

コンパクトシティのコンセプトで歩いて買物できるがあったと思うが、中心市街地に商店がない中でその対策について、市が考えていくのか、商工会議所に任せるような形で考えているのか。

（事務局）

中心市街地の買物について、市役所1階を活用し地域の方々が買物できるような企業の誘致を進めていくことが行政としてできることであると考えている。地域の方々が求める商店の出店について、行政も連携しながら進めていく必要があると考えている。

（委員）

復興公営住宅がかわまち付近にできたが、食品をはじめとした生活必需品が全てかわまちエリアで揃うわけではない。かわまちから歩いて買物するには市役所はちょっと遠いと思う。何か計画はないのか。

（事務局）

優良建築物整備事業で整備中のところへの出店を期待している。行政だけではできないこともあるので、まちなかの事業者と連携していければと思っている。

（委員）

中心市街地へ商店を誘致することに市役所が積極的に関与していいのではないかと。まちなかに復興公営住宅が整備されたが、買物の不便さで敬遠されないようにしてほしい。

(会長)

まちなかに人口が増えて大変ありがたいことだが、復興公営住宅には高齢者が多く、車を使わず歩いて買物に来る方が多いと実感していることから、歩いて買物ができる環境の整備が必要だと感じている。商工会議所の商業部会のような団体が電話一本で高齢者の御用聞き役を担い、地域の小さな商店から物を集めて届けるというような仕組み作りが今後まちなかに必要になってくると思っている。このような活動を行う際に、行政の支援を必要とすることも考えられる。

中心市街地について、町医者は眼科以外は歩いて行けるところにあり、課題は買物の不便さだけである。コンパクトシティの実現に向けて官民あげて取り組んでいきたい。

(副会長)

まず、No.15の津波避難タワー・ビルの指定件数の回答について、できないということではなく、これからどのようにしていくかというところを考えてほしい。

次に、No.36の市内12地域包括支援センターにおける多職種連携会議の定着率に記載されている、地域互助活動促進事業助成金制度の内容について教えてほしい。

最後に、先ほどの商店の関係で、創業や起業の支援、農業や漁業の支援について手厚く取り組んでいるが商業への支援は少ないのではないかと感じた。支援の仕方も難しいと思うが、既に行っている支援に関連付けて何かできないものか。

(事務局)

津波避難タワー・ビルについて、担当部署と今後設置できない部分についての考え方を整理させてもらいたい。福祉の視点での避難については、障がい者や高齢者等の避難は自身で避難計画を作り、個々で避難意識を持ってもらうことが重要であると考えている。また地域で避難名簿を管理し、地域の共助に取り組んでもらいたい。スロープ付の津波避難タワーを設置しようとするると現在の面積の2倍以上必要になるということもあるので、現実的な解決手法も引き続き検討しながら、互助共助の取組等を進めていきたいと考えている。

商業への支援に関しては、政策コンテストでも提案があったが、チャレンジショップといったチャレンジする機会が必要であると感じている。まずは試してみて、それが商売として成り立つと判断できれば商売にするというように、柔軟に対応できる環境を作っていければ良いと考える。

地域互助活動促進事業助成金は、令和元年6月の補正予算で対応した。高齢者、子ども、障がい者等の日常生活に寄り添って地域住民が主体的に行う互助活動を促進する目的で制度を設立した。買物支援や見守り支援等を行う5人以上の市民主体の団体に、支援内容に応じた助成を行うというものである。

(会長)

地域互助活動促進事業助成金の制度は、復興公営住宅に住む高齢者等の支援にも生かせると理解して良いか。

(副会長)

高齢者に頼まれた物をまとめて購入し配達するといった、御用聞きのような活動に使えるということか。中心市街地だけでなく半島沿岸部、市内全域でこういった活動が必要になってくると思う。

(事務局)

今現在、網地島で婦人会が地域の方の買物をまとめて購入し配送するという支援活動を行っている。離島ということで先行的に始めたが、今後は離島以外でも地域の助け合いの中で互助活動を促すことが必要だと考えている。まちなかでもこういった活動が必要で取り組むとなれば助成金の対象になるのではないかと思う。

(委員)

生協で同じような事業を実施している。タイアップはできないか。

(会長)

生協はビジネスとして行っており、ネットを使える高齢者は積極的に活用している。ネットを使えない方をどうするかというのが問題である。

(委員)

半島部では販売者が数箇所にポイントを置いて販売し、購入者の移動距離が少なくなるように工夫している。

(2) 協議事項

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員の任期の延長等について

(説明：SDGs地域戦略推進室)

(会長)

改めて市から任期延長の意向確認が行くので、よろしく願いたい。

(委員)

市民会議はどういったイメージで考えているのか。

(事務局)

何人で構成するか、公募や団体推薦等どのようにするかといった詳細は検討中であるが、新しい計画の策定にあたって様々な方に参加いただき、多くの意見をいただきたいと考えている。

4 その他

釜石視察の件について（有志委員）

（委員）

釜石市は持続可能な地域づくりを進めており、その中でも持続可能な観光（Sustainable Tourism）に取り組んでおり、世界の持続可能な観光地100に選ばれた。

地域の現状把握を正確かつ多面的に行うことを重視している。現状把握には、厳しい国際基準であるオランダの認証制度を活用している。

認証を取ることを目的として取り組んでいるのではなく、認証を取るまでのプロセスを重視し、課題解決に向けた話し合い等のコミュニケーションのツールとして活用している。

行政と民間が協力してチャレンジし、失敗することがあってもいいじゃないかという姿勢が非常に良いと感じた。

（委員）

今後どうしていくかということを考えていくことが重要だと思うが、どうしても評価の作業に重きを置きがちになっている。評価、検証、結果の報告がタイムリーでないのがもどかしい。

これまでの会議のあり方を振り返ると、まちとしての大目標をあまり意識せず、ただ単に各事業に対する評価をしているような気がしている。各事業が大目標を達成するために、どのように位置付くのか、どのように関係しているのかということをもっと意識する必要がある。

（副会長）

4つの基本目標を達成するためにこの会議で評価検証を行っているので、各事業の確認のみで終わらせるのではなく、基本目標はどうなっているのかということに、より意識を向ける必要があると強く感じた。

（事務局）

評価をしてもタイムリーに次に生かせていないのではないかという意見について、会議は昨年度の事業実績を踏まえて次の予算に反映するという流れを考えて日程を組んでいるが、各担当課が様々な意見を踏まえて来年度の事業を見直した上で予算要求するといったサイクルができていくかということに関しては不十分な点があると思う。当室でも事業の改善すべき点がきちんと見直されているかを確認する必要があると考えている。

KPIの達成が数値目標の達成に結び付くという思いで計画を策定したが、それぞれの事業が確実に数値目標に結び付いているかということ、なかなかその反映ができていない部分もあると思う。新しい総合計画・総合戦略を策定する際には事業と大きな目標が結びつくよう、より意識する必要があると考えている。

(会長)

釜石市と石巻市については、人口規模等の様々な面で違いがあることから単純には比較できない。市民との密なコミュニケーションが取れるかという点、仙台市よりは距離が近いが釜石市よりは遠いというところだと思う。だからこそ、推進会議委員の皆さんがパイプ役となり、市民と行政を繋ぐということがとても重要である。

数値目標とK P Iの関係については、御指摘いただいたように「木を見て森を見ず」という視点と、それとは反対の「神は細部に宿る」という視点も必要だと思うので、両方の視点を大事にしていきたい。

総合戦略の1年延長に伴う改訂について（説明：SDGs地域戦略推進室）

第2次総合戦略に係る新規提案事業について（説明：SDGs地域戦略推進室）

(事務局)

複数の案がある場合はぜひ複数提案いただければと思う。また、必ず一つ提案しなければならぬというものではない。次回会議を11月27日（水）に予定しているので、その会議の際にお持ちいただくか、電子メールやFAX等で提出いただいても構わないので、よろしくお願ひしたい。

(会長)

これまで取り組んでいた事業の改善といった視点の提案でも構わない。

(事務局)

これまで総合戦略の検証を通して事業の経過を見てきていただいた委員の皆さんから、提案をいただければと思う。

5 閉会のあいさつ

(副会長)

協力ありがとうございました。大事な資料をいただいたので、しっかり読んで良い提案が出されることを期待します。

6 閉会

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議名簿

(令和元年10月23日)

No.	氏 名	所 属	備考
1	安 住 栄 一 <small>あ ずみ えい いち</small>	牡鹿地区住民代表	出席
2	阿 部 紀代子 <small>あ べ きよこ</small>	コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会	副会長 出席
3	相 澤 友 子 <small>あい さわ とも こ</small>	いしのまき農業協同組合	欠席
4	荒 木 裕 美 <small>あらか き ひろ み</small>	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	出席
5	大 浪 茂 <small>おお なみ しげる</small>	河北地区住民代表	出席
6	井 深 修 一 <small>い ぶか しゅう いち</small>	七十七銀行石巻支店 (代理：相澤様)	出席
7	木 村 美保子 <small>き むら みほこ</small>	いしのまきNPOセンター	欠席
8	後 藤 宗 徳 <small>ご とう むね のり</small>	石巻観光協会	会長 出席
9	西 條 拓 也 <small>さい じょう たく や</small>	いしのまき農業協同組合	出席
10	佐 藤 清 子 <small>さ とう せい こ</small>	河南地区住民代表	欠席
11	佐 藤 尚 美 <small>さ とう なお み</small>	北上地区住民代表	出席
12	品 野 光一郎 <small>しな の こういちろう</small>	宮城県漁業協同組合	欠席
13	庄 子 真 岐 <small>しょう じ ま き</small>	石巻専修大学	欠席
14	畑 山 實 <small>はた やま みのる</small>	日本労働組合総連合会宮城県連合会石巻地域協議会	出席
15	高 橋 真由美 <small>たか はし ま ゆ み</small>	雄勝地区住民代表	出席
16	中 川 尚 仙 <small>なか がわ なお のり</small>	石巻商工会議所	出席
17	永 澤 貞 代 <small>なが さわ さだ よ</small>	桃生地区住民代表	欠席
18	芳 賀 信 幸 <small>は が のぶ ゆき</small>	石巻市地域包括ケア推進協議会	欠席
19	三 浦 と 基 工 <small>み うら と き え</small>	石巻市地域婦人団体連絡協議会	出席